

腎盂尿管移行部狭窄症手術説明書・承諾書

患者氏名： 殿

1. 病名： 水腎症（腎盂尿管移行部通過障害） 右 ・ 左 ・ 両側

2. 現在の症状

- ・CTやエコー検査で（左・右）腎盂の著明な拡張を認めます。
- ・腎シンチ検査上の腎機能は、
右の分腎機能： 低下なし： 低下あり（ %）
左の分腎機能： 低下なし： 低下あり（ %）
- ・尿路感染症の既往： なし： あり
- ・その他の症状

3. 手術の必要性・目的

- ・水腎症による腎機能障害の発生・進行を予防する
- ・尿路感染症を予防する
- ・水腎症により出現しうる症状（血尿、疼痛など）を予防する

4. 手術の方法

- 1) 手術予定日：令和 年 月 日、手術時間（約 時間）
- 2) 予定手術：腎盂形成術
- 3) 麻酔方法：全身麻酔（麻酔に関しては麻酔科の先生から説明があります）
- 4) 手術の方法とその特徴

- ・まず膀胱鏡を使用して、尿管内に細いカテーテル（くだ）を挿入し、尿管と腎盂を造影します。その後、可能であれば、尿管内にステントと呼ばれる特殊な細いくだを挿入してお

きます。(場合により、この操作を行わないこともあります)

- 横になった体位で、肋骨の下の側腹部を6～8 cm程度切開します。
- 尿の流れが悪い腎盂尿管移行部を切断し、十分な内腔のある尿管と腎盂を縫合します。このとき拡張した腎盂壁を切除し、スムーズに尿が流れるようにします。
- 最初に膀胱鏡を施行しない場合には、切断した尿管断端から膀胱に向けて、尿管ステントを挿入します。
- 尿管内にステントが挿入された場合には、あとは傷を閉じて手術を終了します。この尿管ステントは、腎盂尿管の縫合部分の炎症やむくみで尿の流れが悪くならないように入れておきます。これは完全に体内に留置するため、体外に出る部分はありません。
- もし尿管ステントが入らない場合には、腎盂と尿管を縫合した部位から、尿管内にスプリントカテーテルを留置し、また腎に腎瘻カテーテルを留置します。これらは一時的なカテーテルで、体外に出る部分があります。
- 腎盂と尿管を縫合した部位にドレーンというくだを留置し、体外に出します。

5. 手術の合併症

- 出血：輸血を要することはきわめてまれです。術後、一時的に血尿となることがあります。尿量が多くなるように点滴をします。
- 感染：傷に細菌がついて感染が起こることがあります。術後しばらく傷のまわりの皮膚が赤くなることがあります。手術操作に伴って、尿路感染を併発する場合があります。術後数日間は抗生剤を使用します。
- 呼吸器感染：麻酔の影響で一過性に発熱や、痰が出やすくなります。
- また、予測できない合併症が併発する可能性があります。

6. 手術後の経過

- 手術後すぐは飲水や食事はできません。こちらから指示があるまでお待ち下さい。
- 点滴は2～4日で抜きます。ドレーンは、量が少ないのを確認して抜きます。通常は数日で抜けますが、少し長くかかる場合もあります。

<尿管ステントが入った場合>

- ・2～3ヶ月後に再入院していただき、麻酔下で膀胱鏡を使って抜きます。

<尿管ステントが入らなかった場合>

- ・スプリントカテーテルは手術後10～14日で抜きます。腎瘻カテーテルは手術した部位の通過性を確認してから、抜くことになります。

通常は手術後3～4週で腎瘻カテーテルを抜去できますが、8週間程度かかる場合があります。

- ・通常、抜糸はありません。
- ・手術後は、定期的に超音波検査を行い、水腎症の改善の有無を確認します。手術後6か月頃に腎シンチ検査にて手術した腎の機能について調べます。

7. その他の起こりうる問題

- ・腎盂形成術の一般的な成功率は約90～95%です。手術した部位の通過性が改善せず、高度の水腎症が持続し、手術した腎の機能がさらに低下するような場合には、再手術が必要になります。

8. 特記事項

- * 上記内容に関して説明を受け、質問する機会があり、理解された場合には、下記に本人、または代諾者の署名あるいは記名・捺印をお願いします。
- * 上記内容に関する説明が理解できない場合には、主治医にその旨申し出てさらに説明を受けるなどして、十分に理解されたうえで、署名あるいは記名・捺印を行って下さい。
- * 手術を承諾した後であっても、手術前であれば、いつでも、すでに行った承諾を撤回すると共に、その他の治療方法を選択することが可能です。
- * 治療法につき不明な点や心配なことがありましたら、いつでも主治医にご相談下さい。

旭川医科大学病院 説明場所 _____

説明日時 令和 年 月 日 時 分 ~ 時 分

説明者 職名 泌尿器科医師
署名または記名・捺印 _____ 印

患者の署名または記名・捺印 _____ 印

住所 _____

代諾者の署名または記名・捺印 _____ 印

続柄 _____

住所 _____

同席者署名または記名・捺印 _____ 印

続柄 _____